



会長 紺野 広 青少年奉仕 夏川戸 齊  
副会長 橋本 昭一 幹事 松本 剛典  
クラブ奉仕 橋本 昭一 会計 妻神 和憲  
会長エレクト 橋本八右衛門 会場監督 佐々木泰宏  
職業奉仕 道尻 誠助 直前会長 小林 幹夫  
社会奉仕 岡崎 孝文 副幹事 小田山紀暢  
国際奉仕 鶴飼 寿栄 会計補佐 小井田和哉

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル  
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内  
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661  
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp  
http://hachinohe-rotary.org/  
会報・広報委員長 峯 正一 同副委員長 上村 奉樹  
同委員 妻神 和憲 同委員 野村 一雄

国際ロータリーのテーマ — 2023~24 — 八戸ロータリークラブのテーマ

世界に希望を生み出そう

和而不同 (わじふどう)

国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー

八戸ロータリークラブ会長 紺野 広

## 4月は母子の健康月間です

第3308回例会 2024.4.3

▶ゲスト 地区グローバル補助金委員会  
川崎 益美委員長 (八戸北)  
地区ロータリーの友委員  
石川佳共子さん (青森)

### 会長要件 紺野 広 会長



今日の卓話者、八戸北RCの川崎益美様は、第2830地区の水事業をずっとやって来て居られます。青森RCの石川佳共子様は、地区ロータリーの友委員会委員長で、今回の卓話の取材を兼ね、いらっしゃいました。私は昨年来、PETS、DTTS、DTS等、色々な会員教育の為に会に参加させて頂きましたが、地区のやっている事業の中で一番素晴らしいと思うのは、川崎さんが携わって来られた、此の水事業です。昨年度は例会に御招きして居りませんので、御聞きに成って居られない方も多数いらっしゃると思いますが、是非此の機会に、財団基金と、地区でやっている水事業に関し、拝聴し、知識を深めて行って戴ければと思います。

昨年の御盆近くに、道尻誠助さん、正部家光彦さん、小田山紀暢君、私の4人で、東京ロータリークラブの例会に参加させて頂いた事が御座います。其の時の卓話は2名の新会員卓話で、1人、14分程で話され、その後、会長がきちんと其れ等2つの卓話に関して講評し、13:30きっかりで閉会して居りました。我々は其の後、三島の米山梅吉記念館に行く予定でしたので、きちんと例会が終わって居無いと、新幹線に乗り遅れる懸念が有りましたが、余り慌てる事無く会場を後に出来た記憶が御座います。矢張り伝統の有るクラブは時間管理もきちんとして居るなど、其の時思いました。今日のレジュメを御覧下さい。今日の例会の閉会点鐘は13:27です。元々、当クラブの橋本副会長からも、「時間を厳守せよ。」と言う事は、私が幹事の時代から言われ続けて居りました。「皆、仕事が忙しく、例会後の予定もしっかり詰まっている方が多いので、時間厳守をするのは社会人として当然の事で有る。」と御指導を戴いて居りました。以降の例会も含め、閉会時刻厳守の方針でやって参ります。皆様、何卒、御協力の程、宜しく御願ひ申し上げます。

東京ロータリークラブでは、其の他にも、素敵だなどと思う事が御座いました。S A Aが20名程居り、我々の様な、ゲストやビジターのテーブルに同席し、色々と気を配り、サポートをして下さいます。東京ロータリークラブのS A Aは、我々のクラブの様な会場監督と言う意味合いの役では無く、会場の運営を円滑にする為の接待等が、其の役職の職域に入って居りました。今日もゲスト・ビジターの方が合わせて2名いらして居ますので、同テーブルの皆様は、東京ロータリークラブのS A Aに負けない様、全員がテーブルマスターに成った気持ちで、御対応戴きたく、お願いしたいと思ひます。

### 幹事報告 松本 剛典 幹事



○ロータリーレートのお知らせ  
4月1日より 1ドル=151円  
○南グループロータリークラブ  
会員名簿に変更がある方は  
4月末までに事務局までお知  
らせください。

○皆様に「第2830地区会員名簿作製についてのアンケート調査」が事務局から届いていると思ひますので、回答をメールもしくはFAXでご返信お願いいたします。

◎水曜会の幹事長としてご報告があります。  
4月20日(土)に今年度第1回水曜会コンペがあります。返事の無い方が十数名いらっしゃいますので、お返事を早めにお願ひします。期

限は今週末までです。また事務局より年会費の請求もさせていただいておりますので、こちらもお支払いをよろしくお願ひいたします。

### 委員会報告

親睦・会場委員会 増田 敏委員長



○ニコニコボックスの報告

川崎益美さん

お久しぶりです。本日は宜しくお願い致します。

石川佳共子さん

地区グローバル奉仕に参加し、昨日タイから帰国しました。ロータリーの友へ投稿します。

・誕生祝 増田 敏さん

・奥様誕生祝 橋本八右衛門さん

妻神和憲 } 川崎様、本日はごくろう様  
佐々木泰宏さん } です。卓話よろしくお願ひ  
します。

渡辺 孝 } 竹石さん新会員卓話、川崎様  
紺野 広さん } グローバル補助金卓話よろし  
くお願ひします。

小田山紀暢さん 竹石さん新会員卓話よろしくお願ひします。

上村奉樹さん 4月から職場異動になりましたが、引き続きよろしくお願ひします。

小井田和哉・浜谷英幸 } ニコニコデー  
山田慶次・道尻誠助さん }



### 「東北電力火力発祥の地 八戸火力発電所の紹介」



昨年7月に入会させていただきました。わたしは東北電力八戸火力に勤務しておりますが、青森県のエネルギー事情と言いますと原子力と再エ

ネということで注目が集まっている中、わたしの勤務している火力はなかなか日の当た

東北電力八戸火力発電所 所長 竹石 雄 さん

ない分野になってきています。改めてご紹介させていただければと思ひます。また、八戸火力は弊社の中で一番最初にできた火力発電所ですので、その辺も含めてご紹介させていただきます。

まずは自己紹介と会社でどんなことをやってきたか、そして最後に発電所のご紹介とい

う流れになります。

名前は竹石<sup>たけいし</sup> 雄<sup>たけし</sup>です。昭和42年8月21日生まれの56才です。住んでいるのは市内の根城6丁目の会社の宿舍、6畳ワンルームに住んでいます。自宅は宮城県多賀城市にありまして、家族構成は妻ゆき、長男ゆう、次男ゆいです。わたしを除いて3人はみんな“ゆ”で始まる2文字です。子ども二人の名前はわたしが妻から責任を持って付けなさいということで、“ゆ”つながりでつけました。こちらで乗っている車は単身赴任用のアクア、宮城ナンバーの水色のアクアがいたらわたしかなと思っていただければと思います。

わたしは新潟県新潟市の今は中央区というところで生まれました。新潟駅にほど近い、いわゆる中心部のほうで生まれ育っています。新潟はいいところで、日本海側に面していますので、夕陽はひじょうにきれいに見ることができます。67年8月に生まれたのが新潟駅の近くです。74年に小学校に入学しましたが、信濃川にほど近くにある南万代小学校に入学しました。中学校は1980年宮浦中学校で、信濃川にほど近い中学校でした。83年に新潟県立新潟高校に入学、高校から中学まで直線距離で3kmくらいしかなく、ひじょうに狭い範囲で高校生活まで送っていました。スポーツ経歴はわたしは小学校から中学校まで水泳をしていて、高校から大学までラグビーをしていましたが、残念ながらラグビーの写真は出てきませんでした。

会社での経歴は、わたし共は東北電力グループの事業基盤は東北6県+新潟県、国土の役2割近くを占めたところを基盤としています。厳密にいきますと2016年から電力が全面自由化になりましたので、このエリアには限りませんが、基本的エリアは東北6県+新潟県です。このうちわたしが所属します火力部門の火力発電所は計9か所あります。総容量で1,117KWということで、原子力、水力を合わせた当社のすべての電源のだいたい7割近くになっています。

できた順にご紹介しますと、①八戸火力、②仙台火力、③新潟火力、④秋田火力、⑤新

仙台火力（宮城県）、⑥東新潟火力（新潟県）、⑦能代火力、⑧原町火力（福島県）、⑨上越火力（新潟県）の順です。このうちわたしが勤務したところですが、入社の際に配属になった東新潟火力と仙台本店勤務が長いです。東新潟火力は計4回で13年3か月、本店は計4回で13年8か月勤務しました。新設火力の基本設計、発電設備の建設、コンバインドサイクル設備関連業の経験が長くなっています。火力と異なる異色の業務として海外事業、八戸に来る前まで従事していたソリューション提案と熱供給関係が異色かなと思います。

現在の発電所の姿です。出力416,000KWの熱効率に優れるコンバインドサイクル発電方式、道を挟んで八戸太陽光発電所1,500KWがあり、こちらわたし共のほうで監視やメンテナンスを行っていて、総出力417,500KWになります。燃料はLNGでENEOSのLNGターミナルから供給してもらっています。

コンバインドサイクルはガスタービンと蒸気タービン、発電機を回すタービンが2つあり、この両方で発電します。ガスタービンは燃料と空気を圧縮して1,500℃くらいのガスにして、それをガスタービンに送ります。ガスタービンを回して発電して、ガスタービンを出てきた後のガスがまだ600℃くらいあるので、その熱を使って排熱回収ボイラーで水から蒸気を作ります。その蒸気で蒸気タービンを回すという仕組みになっています。ガスタービン、その横に排熱回収ボイラー、真ん中の建物に蒸気タービンが設置されています。ガスタービンは東日本大震災後の緊急電源として2012年7月にガスタービンのみで発電を開始しました。その後、排熱開始ボイラーと蒸気タービンを追加設置して、コンバインドサイクル発電方式に生まれ変わっていて、2014年8月から運転を開始しました。加えて当初は燃料を軽油で行っていましたが、1年後の2015年にLNGに転換しています。とはいうものの、実は今、ちょうど定期点検中ということで、3月9日から6月3日までの87日間かけて、3年ごとに行っている分解点検



をしている真っ最中です。これは一昨日、ガスタビーンの中で回転している回転体を釣り出した写真です。わたし共の会社は通常こういった設備は建物の中に設置しており、建物のクレーンを使って行いますが、お話ししましたように大震災後の緊急電源ということで屋外に設置しておりますので、こういった大型クレーンで分解しているところです。

発電所は所長以下53名体制で行っていますが、構内には200名超の常駐の協力業者さんがいまして、一体となって安定運営を行っています。職場状況は執務棟は66年目とひじょうに古い建物で、執務室は4階にあります。昨年度末第四半期を使って中の改装を行いました。フリーアドレス化しました。リフレッシュスペース、ミーティングスペースを設けて、いわゆる最近の働き方改革という中でまずはワークプレイスの改革を図ったというところで勤務しています。

歴史ですが、旧馬淵川に新井田川が流れこんできて、埋め立てて発電所を1955年に建設しました。1958年に1号機、2号機が運転を開始しました。1963年当時、最新鋭の火力設備だったということで、昭和天皇皇后両陛下がご視察に見えられたということです。1966年には上皇・上皇后両陛下がご視察に見えられました。1967年に3号機が運転を開始。1972年に4号機が運転開始し、総出力650,000KWになっています。

1、2号機は石炭で、3、4号機は石油ということで、煙突の後ろに石炭を溜めて置く貯炭場と大きな石油タンクがあります。1958年から運転を開始し、石炭、石油、今はガスの最新式の発電方式で火力発電の歴史そのものを1発電所で体現してきた地点ということができます。

火力発電所は今では二酸化炭素を排出するというのでひじょうに立場が弱くなっていますが、ひじょうに重要な役割を担っています。太陽光。再エネって出力変動が大きいですということをご説明しようと思いましたが、時間がなくなってきました。需要と供給のバランスを取らないと停電してしまうけれど、再

エネが先ほどのように変動するので火力がその調整をしています。実際に八戸火力の1日の出力の変化状況です。最高出力から発電停止まで、10日の間で0～100までひじょうにきめ細かに調整しています。

最近はやりのDX。異常検知にDXを活用して早期発見に努めています。二酸化炭素排出の話をしました。手をこまねいているだけではなく、コンバインドサイクル発電設備で脱炭素を図るべく、水素を燃焼する取り組みを開始しています。この写真は新潟火力での実験で、昨秋10月と11月に事業用では日本で初めてトライしたと報道されました。

## 地区グローバル補助金委員会卓話

### 「地区グローバル補助金について」

グローバル補助金委員会 委員長 川崎 益美様



八戸ロータリークラブにお声がけいただき、たいへんありがとうございます。先ほど紺野会長からひじょうにいい事業だとお褒めいただきました。

確かにいい事業だと思いますが、長年水事業をやっているとクラブ内から不平不満が出て、年々立場が狭くなっている気がしています。ガバナーからもお叱りを受けたりしますが、事業自体はやはり現地に行ってみるとひじょうに素晴らしいものがあると思います。きょうはそういう意味で最初にグローバル補助金プログラムの仕組みを流して、実際に現地タイに行ってみて来たことを報告させていただきたいと思います。

グローバル補助金プログラムの仕組みはお手元の「財団資金の活用」をご覧ください。わたしたちが寄付しているのは3年後に戻って来るといのはだいたい知っているかと思えます。年次寄付はポール・ハリスフェローなどです。恒久基金はベネファクターなど、こちらは運用して収益だけで3年後に全額戻ってきて、5%の運営費を引かれて95%がワールドファンドをDDFにシェアされます。こちらには50%、地区財団資金活動には50%。

DDFが今決定しますが、地区補助金にするのは50%以内の額をもって地区が財団に一括申請することになり、こちらが地区補助金になります。あとの50%はクラブが地区に補助金個別プロジェクトを申請し、地区補助金を受け取る、補助金は地区が審査する。これは地区補助金です。もう一つはグローバル補助金資金として使用するということがわが地区は水事業に使っています。

グローバル補助金は簡単にいうと財団に申請するとワールドファンドから、この申請額の80%がロータリー財団からくるといことです。グローバル補助金は対象予算が30,000ドル以上で、それ以外の制約もいろいろあります。半分の半分は戻ってきて、グローバル補助金と地区補助金になります。グローバル補助金は国外での大規模で長期のプロジェクトを対象としており、30,000ドル以上が対象です。ロータリーの7つの重点項目に該当しなければならぬということがあります。

今回わたしたちがやっているのは水と衛生。コロナの時は疾病予防と治療にも活用しました。条件としていろいろありますが、持続性があり、測定可能で成果をもたらすことが条件になります。ロータリアンが携わること、実施地の地元社会の人々が積極的に参加するなど、いろいろ制約があります。八戸クラブから識字率向上でタイとのプロジェクトをやりたいということがありましたが、現実的には第二外国語は対象外ということになっているようです。

この前ミャンマーの名知仁子さんがIMで説明されましたが、自国のことばのわからないような国もあるわけです。そういった人たちの識字率向上が対象になる話でした。最近の資金活用では、去年の田中年度ではタイの水事業に15,000米ドル拠出しています。それについて事業そのものが終わっておりますので、その事業を視察してきましたので、後ほど報告したいと思います。また、築館年度は14,000ドルを水事業に拠出していて、今この事業が進行中です。それ以外にもウクライナの難民の子どもケアのために10,000ドル拠出

しています。

先ほどの水事業について具体的に数字を出して説明したいと思います。田中年度で拠出した15,000ドルですが、補助金番号は2346670です。先ほどのDDF、地区に振り込まれている地区補助金の中のグローバル補助金を15,000ドル拠出していて、相手方の3330地区は6,148ドル、合わせて21,148ドルになります。ワールドファンドからの上乗せということで財団からの上乗せ額はこれに対する80%ということで16,918ドル。合わせて38,060ドルが今回の事業の合計額になりました。為替の関係もあります。だいたい日本円で570万~590万円、600万円弱の事業です。

水事業の場所はタイです。タイの地区は4つに分かれています。バンコク中心と東部、北部、3330地区は南側一帯です。水事業をやっているのはナーコンシータマラートのさらに南です。今回もナーコンシータマラードでこのような幕を用意してくださいました。行ったメンバーはわたしと工藤パストガバナー、石川佳共子ロータリーの友委員長、財団の佐藤委員、ガバナー代理として行かれた成田秀治パストガバナー、工藤さんの娘さん、ムチャイさん、地元のロータリアンのシェア伊さんがお世話くださいました。

事業にはすべてこのような看板がついています。3330地区と2830地区が共同でやりましたという補助金番号が入った看板を必ず設置してあります。今回は600万円弱の事業ですが、3校視察しました。ナーコンシータマラート小学校、ワットトン小学校、ナットレム小学校。ナーコンシータマラート小学校は生徒数2,719名で、先生方は260名。ここは大型浄水器に換えました。ここは町中にありますが、ワットトン小学校とナットレム小学校は20kmくらい郊外の小規模が小学校でした。地下水を利用して汲み上げても水質が悪く、浄水器を設置しなければいけない。こちらはトイレも少なく汚いからリフォームしながら、トイレの増設も図りました。写真を紹介したいと思います。

生徒と先生を合わせて3,000人のナーコン

シータマラート小学校は春休みで学校が休みで生徒が数名しかいませんでしたが、先生方がずらっと並んで、地元のロータリアンが出迎えてくれました。浄水器の前で記念撮影をしましたが305,000パーツの費用がかかったそうです。古い浄水器も見ましたが、確かに小さくてこれで3,000人に水を供給するのはちょっと無理で大型浄水器が設置されました。巨大なタンクが三つあり、これで3,000名の水が供給できると改めて感じさせられました。

ワットトン小学校は地下水を利用していても水質に問題があったということで浄水器を設置しました。395,000パーツ（約200万円弱）のお金をかけて浄水器とトイレと浄化槽を設置しました。子どもたちがひじょうに喜んで、建物全体がトイレで便器が4つあり、こどもたちはずっと私たちの周りについてきて、校長先生もひじょうに嬉しそうでした。リフォーム前のトイレは水を汲んで終わったら流すという旧式なものでしたが、新築したものは今風の水洗トイレ、タイ式のウォシュレットがついています。

ナットレム小学校の新築トイレは566,984パーツ（約270万円）かかりました。トイレの裏側に小便器がついています。飲料水の写真ですが、新たに水だけを飲めるように造設しました。新築トイレはやはり浄化槽を設けない。井戸を掘っても10mくらいで湧いてきますから浄化槽を設けなければいけないので、新築は浄化槽を設けないと。新築トイレのウォシュレットですが紙がない。流れが悪くなるし、ウォシュレットを使うすぐ乾く。基本的に紙はありませんでした。それが普通のようなようです。

小学校前に自販機があります。郊外の2校とも自販機を設置して、その収益は学校の子どものために利用しているそうです。ちなみに18リットル缶5パーツ、市販されている水は18リットルで12パーツ。

地元の方からは歓迎セレモニーではひじょうにありがたいと挨拶されていました。中学校、高校で日本語を教えている日本人のマリ

コさんが通訳をしてくれました。日本と違ってタイで先生はひじょうに尊敬されていて、子どもたちに将来何になりたいと聞くと先生にさせたいというのが親御さんの要望です。

小学校前の自販機前の池ですが、かつては八戸にもこういう澱んだ池がありました。10mくらい掘るとこんなに澱んだ水が湧いてくるから、これは学校の井戸ですが、基本的に水質が良くないので必ず浄水器をつける必要がある。本当にいい水が足りないというのが正直なところですよ。実際にこどもたちが自分たちでペットボトルに入れる作業をしていました。たぶん小学校5、6年生だと思います。充填はしますが、日本の機械のように均一にはなりません。手作業でキャップをしめていました。

ロータリーの最初の奉仕活動はアメリカシカゴ市への公衆トイレの寄贈から始まったのは皆さんもご存じかと思います。2830地区は2012-13年度にタイとの水事業が始まり、今回で12年目になります。それまで3330地区の60校に寄贈していますし、その間、医療支援もしています。3330地区は75校を目標にしていますので、すでに次年度の要望もいただいています。水事業と医療支援事業をやりたいということです。

謝礼贈呈：紺野 広会長

講評：紺野 広会長

川崎さんありがとうございました。われわれが地区、国際ロータリーに寄付しているお金が有意義に使われていることがひじょうによく分かったかと思います。事業それからやり方に関してはいろんな意見があるのだろうと思います。今現在有意義な活動をして下さっていることに関しては感謝申し上げたいと思います。

竹石 雄さんの話はひじょうに興味深く、わたしは本当はいろいろ質問したいと思っていました。SDGsが昨今叫ばれる中、水素混焼それだけで本当に脱炭素化が図れるのか、自然再生エネルギー、太陽光、風力そういう

もので本当に賄っていけるか、いろんなことがあろうかと思えます。東京ロータリークラブに行った時の新会員卓話は戸田建設の社長さんでしたが洋上風力のお話でした。今現在はきちんとパイルを立ててやる形の風力発電ですが、浮遊式の発電機をそれによって日本の必要電力のかなりの部分を賄える。沖合いに風力発電を設置できるという夢のあるお話を聞いたことがあります。専門家の竹石さんのお話をそういう観点からもう一回お聞き

したいという気もしました。

次週は明治安田生命の佐藤つねひろさんが新会員としてお越しいただきます。12時には入り口で皆様にご挨拶していただけることになっています。ロータリー情報委員会の方々には再度新会員歓迎IDMを企画していただいて、彼を囲んで今日いただいたお話をまた夜にみんなで楽しく時間を過ごしたいと思っております。

出 席 報 告						出席委員会																	
第3308回例会（4月3日）			第3306回例会（3月13日）																				
出席率		61.9%		出席率		61.3%		修正出席率		64.5%													
総会員数		64名		出席数		39名		総会員数		64名		メイクアップした人数		2名									
出席義務会員		63名		出席免除会員		1名		欠席数		24名		出席義務会員		62名		出席免除会員		2名		欠席数		22名	